

よんでネット* 2025 冬号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会

極北の大地に住む

蘭野吉晴

(地球ものがたり)



ほるぷ出版〔38セ〕

極北とは、アラスカやシベリアなど、一年の半分以上を雪におおわれている北の地域のことです。冬には気温がマイナス40度にもなる冷凍庫よりも寒い場所です。

クジラやセイウチを食べる海岸地帯。

サケをとる大河川流域。

トナカイと共にくらす内陸部。内陸部では、トナカイの皮で家をつくることもあるそうですよ。

人びとは、知恵と工夫で環境にうまく適応してくらしています。

もし、世界にわたしがいなかったら

文 ビクター・サントス

絵 アンナ・フォルラティ 訳 金原瑞人

「わたしは、ずいぶん長く生きてきた。」世界じゅうにいる、いろいろな姿をした何千ものわたし。あなたを過去へも、現在へも、未来へもつれていってあげられる。

やわらかいわたし、きびしいわたし、愛を伝えることもあれば、傷つけることもあるわたし。

「わたし」って…？



西村書店〔E・絵本のコーナー〕

風を切って走りたい!

高橋うらら 著

夢をかなえる バリアフリー自転車

物作りが大好きな 堀田健一さん。ある時、小2の息子のために手作りした三輪車を見て、足の不自由な人が乗ってみたいと、声をかけてきた。

この出来事から 堀田さんは 体の不自由な人のための自転車作りを始める。しかし、一台一台手作りする自転車は お金も労力も大変。家の暮らしも苦しくなった。それにもめげず 40年間で作った自転車は約2600台。堀田さんは これからも 作り続ける。



金の星社〔53夕〕



ピアノをきかせて 小俣麦穂

小学5年生の響音は、姉・千弦の弾くピアノが大好き。ところが練習に打ち込むばかり千弦のピアノはしだいに重くしずんだ音に…。

そんな中、音楽を楽しむ人たちと出会った響音は、大好きな千弦に、もう一度ピアノを弾く喜びを思い出してもらうために、オリジナル音楽劇に参加することに。

講談社〔913才〕

引っ越しなんてしたくない!

バンタビーカー家は五人きょうだい

カリ・ナヤン・グレーザー 作・絵

田中薫子 訳

クリスマスの五日前、バンタビーカー家の五人きょうだいは、両親から重大なことを告げられた。大家のビー・ダマンさんに来年の部屋の契約を更新しないとと言われてしまったのだ。

何年もくらしただ好きな家。今年中に出ていけなんて、ひどすぎる。子どもたちは、何とかビー・ダマンさんの気持ちを变えようと計画をたてるのだが…。



徳間書店〔933グ〕